

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域住民と小中学生が一緒に学ぶ防災教室
事業主体 (連絡先)	開田高原地域協議会 会長 中村 肇 事務局：木曾町開田支所木曾馬の里振興課 TEL：0264-42-3331
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	445,953 円 (うち支援金：355,000 円)

事業内容

開田高原地域では、自主防災組織が中心となって積極的に防災訓練などへ参加していますが、深刻な高齢化により支援体制に課題があります。そこで、地域の将来を担う子供たちと地域住民と一緒に、防災用品を使って体験したり習得することで、いざという時に自主的な行動ができるよう防災教室をおこないます。

今年度は、小学生と地域住民を対象とした防災教室を2回、中学生と地域住民を対象とした教室を1回、地域住民すべての方(小中学生を含む)を対象とした防災訓練を1回実施しました。また、開田高原文化祭でも、防災用品を展示し防災に対する啓発活動をおこないました。



【地域の方が過去の災害を説明】

【目標・ねらい】

- ① 防災意識の向上
- ② 地域住民と小中学生の交流
- ③ 参加者の家庭や地域への防災力向上の波及効果

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 参加者アンケートから、日頃の備えについて考えたい旨の記述が多く見受けられ、効果を実感しました。
- ② 小中学生を対象としたことで、平日の日中開催となり、地域住民の参加者は伸びませんでした。しかし、過去の災害を地域住民の方に語ってもらう機会を設けたことで、世代間交流の重要性が理解いただけました。
- ③ 家庭や地域に帰って、話題にしたいという声が多くあり、教室だけにとどまらない影響力を感じることができました。

※自己評価【B】

【理由】

- ・参加者に日頃の備えの重要性を理解いただけました。
- ・地域住民の参加者が今一つでした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

防災教室はこれまで通りおこないますが、休日や夜間など地域住民が参加しやすい防災講座なども企画したいと考えています。防災教室では、避難所の運営訓練をおこなうことで、大人だけでなく子供(小中学生)も、自分に何ができるのか考えてもらう機会としたいです。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある